

「London Climate Action Week 2026」

会期中イベントに登壇

— ネイチャーポジティブ実現に向けた取り組みをグローバルに発信 —

サントリーホールディングス（株）は、London Climate Action Week 2026（6月20日（土）－28日（日））において、イギリスの環境・生物多様性関連企業 Environment Bank Ltd.主催のイベント「Business Case for Nature: From Commitment to Delivery」に登壇しました。当社が London Climate Action Week 会期中イベントに登壇するのは初となります。

本イベントでは、常務執行役員 サステナビリティ経営推進本部長の浅木純がパネルディスカッションに登壇し、当社グループ事業活動におけるネイチャーポジティブの取り組みを紹介しました。

- ・「サントリー 天然水の森」活動に代表される水源涵養活動
- ・持続可能な原料調達に向けた農業分野での取り組み（英国でのカシス農家支援、コーヒー・大麦などの主要原料における自然依存度とリスク把握等）

近年、生物多様性の損失は気候変動と並ぶ地球規模の課題として認識されており、CBD-COP15で採択された「昆明・モンリオール生物多様性枠組」においても、その重要性が示されています。サントリーグループは、20年以上にわたり森林整備活動「サントリー 天然水の森」を展開し、森林の水源涵養機能の向上に加え、生物多様性の保全・向上に取り組んできました。その結果、農林水産省・国土交通省・環境省の3省による「自然共生サイト」にも単一企業として最多となる8カ所が認定されています。

一方、ネイチャーポジティブの実現には、個社のみならず、多様な主体が連携して取り組むことが不可欠です。当社グループは昨年、「ネイチャーポジティブ フォーラム ～サントリー 天然水の森～」を初開催しました（ニュースリリース No.14852 参照）。さらに本年7月に熊本で開催される国際会議「Global Nature Positive Summit」への登壇を予定しています。今後も、国際会議をはじめとした各種イベントへの積極的な参画を通じてステークホルダーとの連携を一層強化し機運醸成を図ることで、ネイチャーポジティブの実現を目指していきます。

▼サントリーグループのサステナビリティ
<https://www.suntory.co.jp/sustainability/>

以 上

水と生きる SUNTORY

自然と水の恵みに生かされる企業として、貴重な水資源を守ること。
さまざまな企業活動を通じて社会に潤いをもたらし、社会にとっての水であること。
社員一人ひとりが水のように自在にしなやかに挑戦できる会社であること。
「人間の生命（いのち）の輝き」をめざす想いを、「水」に託して伝えるメッセージです。